



2012年11月 9日(金)～

11月22日(木)の活動

○ 第39回北陸地方経済懇談会

11月13日(火) 福井市

(一社)日本経済団体連合会との第39回北陸地方経済懇談会をユアーズホテルフクイ(福井市)で開催した。

『決断と実行で国と地方の再生を』を基本テーマに、経団連から米倉会長以下約40名、当連合会から永原会長以下約70名が出席した。

懇談会の冒頭、永原会長は挨拶で「2025年度とされている敦賀延伸の実現を1年でも2年でも早くすることが必要である。大阪までのフル規格全線整備に向け引き続き取り組む。当会のアンケート結果では、国のエネルギー戦略に多くの会員が危惧を抱いている。今後のエネルギー基本計画の策定にあたっては、十分な検討がなされることを望む。」ことなどを述べた。両連合会の活動報告の発表の後、「エネルギー・環境政策の行方」「北陸地域の社会インフラ整備」「北陸の観光振興」「社会保障・税一体改革による財政の確立」「持続的な経済成長を目指したイノベーションの創出」「震災の教訓を得たサプライチェーンの構築」について、意見交換を行った。

(担当:小林)

○ 北陸新幹線建設促進同盟会中央要請

11月13日(火) 東京都内

北陸新幹線建設促進同盟会・北陸新幹線建設促進北信越五県議会協議会・当連合会合同による中央要請活動を実施した。当連合会からは犬島副会長らが参加し、富山・石川・福井・長野県知事のほか、新潟・大阪知事代理、関西広域連合、関西経済連合会らとともに、政府・民主党などに、以下の要請を行った。

【要望事項】

1. 金沢-敦賀間について早期完成・早期開業に向け、整備を促進すること。
2. 平成25年度予算において、十分な建設財源を確保するとともに、整備スキームを見直すこと。
3. 大阪までのフル規格による整備方針を明確化し、早期全通を図ること。
4. 地方負担について、コスト縮減や、負担に見合う受益の確保を図ること。
5. 並行在来線について、これまでの枠組みの見直しと再検証を行い、新たな仕組みを講ずること。
6. 幅広い観点から、十分な財源を確保すること。

(担当:小林)

○ 平成24年度第1回社会基盤整備委員会

11月19日(月) 金沢市

山崎委員長をはじめ12名の委員が出席し、「平成24年度事業計画の実施状況・評価及び平成25年度事業計画の方向性」などについて審議した。委員からは、北陸新幹線について、「駅を中心とした街づくり(都市づくりと一体となったもの)であるべき」、「敦賀以西の整備は、戦略・戦術を持って取り組むべき」、「工事については、地産地消でなければならない(地元還元されなくてはならない)」などの意見があった。また、北陸新幹線金沢開業後の北陸における空港の利用促進について、「国内外を問わず、DC(デスティネーションキャンペーン)のようなキャンペーンを継続していくことが重要」などの意見があった。

(担当:大嶋)

○ 「北陸新幹線 金沢-敦賀間の早期開業による経済効果」について プレス発表

11月 8日(木)

標記について、北陸三県のご意見も得ながら調査を実施し、結果をとりまとめ公表した。

<調査結果の概要>

- ①開業時期が早まることにより、地域間の交流が促され、経済効果(約800億円/年)がより大きくなる
 - ・3年早く開業した場合の経済波及効果(累積額):2,406億円
 - ②開業時期が早まるほど費用対効果(B/C)は向上する
 - ・3年早く開業した場合の費用対効果(B/C):1.16(開業時期を早めない場合:1.12)
- ⇒ 北陸新幹線の金沢-敦賀間を早期に整備する必要がある

(資料は北陸経済連合会HPでご覧いただけます)

(担当:伊東)

※ 当連合会では、新規会員を募っております。会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声をかけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。(Tel076-232-0472)

○ メッセナゴヤ 2012

11月7日(水)～10日(土) 名古屋市

北陸地域企業誘致連絡会(富山県、石川県、福井県、中小企業基盤整備機構、北陸電力、北経連で構成)は、ポートメッセなごやに於いて開催された「メッセナゴヤ 2012」へ出展し、北陸地域への企業立地のPRとアンケートによる情報収集を行った。会場では、当連絡会ブース正面メッセージウォールの北陸新幹線等を紹介するパネルの前で立ち止まる来訪者も多く見られた。収集したアンケートについては、各団体で内容を確認の上、活用していく予定。

次の出展は、来年1月16日～18日のネブコンジャパン(東京)の予定。

(担当:小林)

お知らせ

○グローバル人材育成シンポジウムのご案内

産学協働によるグローバル人材育成の今後の方向性や企業、地域中核大学の取組を紹介し、グローバル人材の育成・活用について提言する。

日時:平成24年12月5日(水)

13時15分～17時00分

場所:石川県地場産業振興センター新館5階
第12研修室

(石川県金沢市鞍月2丁目1番地)

プログラム等詳細は、下記URL参照。

<http://www.chubu.meti.go.jp/jinzai/index.htm>

[お申込み・お問合わせ先]

北陸AJEC(北陸環日本海経済交流促進協議会)

TEL:076-231-5525(担当:石村)

○「高信頼システム情報交換会・北陸」の開催

12月13日(木)13:30～16:40 富山市CiCビル

低炭素社会の実現、高齢化社会への対応、新たな産業の振興等の課題への解決策として注目を集めている「スマートシティ」をめぐる最新動向について、以下のとおり講演会を開催する。

講演①:スマートシティをめぐるビジネス・技術の最新動向

日本IBM(株)スマーシティ事業 池田 一昭 部長

講演②:スマートコミュニティ形成の取り組み(仮)

みずほ情報総研(株) 紀伊 智頭 シニアマネージャー

詳細は下記ホームページを参照 ※参加費無料

<http://www.hokkeiren.gr.jp/STC/>

[お申込み・お問合わせ先]

北陸経済連合会イノベーション推進事業部(担当:岩田)

TEL:076-265-8656 FAX:076-265-6805

今後の主な活動予定

□ 12月3日(月)

会員懇談会(富山)

<会場:富山第一ホテル>

(講師:京都大学大学院教授 藤井 聡氏)

□ 12月10日(月)

会員懇談会(石川)

<会場:ANAクラウンプラザホテル金沢>

(講師:日本総合研究所理事長 寺島 実郎氏)

□ 12月12日(水)

常任理事会

<会場:金沢ニューグランドホテル>

□ 1月29日(火)

新春経済懇談会

<会場:金沢ニューグランドホテル>

□ 2月4日(月)

第2回北陸フォーラム(東京)

<会場:ホテルニューオータニ>

○北経連トピック№101(H23.6.2発行分)より、当連合会HPに掲載しております。

バックナンバーのお問い合わせは大嶋まで。

(TEL076-232-0472)